

阪急電鉄、阪神電気鉄道、アイテック阪急阪神が共同で  
「第2回 鉄道技術展・大阪2026」に出展  
～新型車両、デジタル技術を活用した次世代の鉄道システム等を紹介します～



出展ブース イメージ

阪急電鉄株式会社（本社：大阪市北区、社長：嶋田泰夫）、阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：久須勇介）及びアイテック阪急阪神株式会社（本社：大阪市福島区、社長：水本好信）は、2026年5月27日（水）～29日（金）にインテックス大阪で開催される「第2回 鉄道技術展・大阪2026」に共同で出展し、阪急・阪神の新型車両、AI等のデジタル技術を活用した次世代の鉄道システム、環境に関する取組み等を紹介します。

「鉄道技術展」は、鉄道・交通システムやインフラ技術、施設、電力、輸送、運行管理、車両、インテリア、旅客サービス関連他あらゆる鉄道分野の技術が横断的に会する総合見本市として2010年から開催されており、大阪での開催は2022年以来2回目となります。

「第2回 鉄道技術展・大阪2026」の概要及び出展内容は、次のとおりです。

## 1 鉄道技術展・大阪の概要

- ・名称：第2回 鉄道技術展・大阪2026 Mass-Trans Innovation Japan Osaka 2026
- ・会期：2026年5月27日（水）～29日（金）
- ・会場：インテックス大阪 3・4・5号館／国際会議ホール（大阪市住之江区南港北1-5-102）  
※詳細は右記のURLをご覧ください。<https://www.mtij.jp/osaka/>

## 2 出展内容

（阪急電鉄）座席指定サービス PRiVACE・2300系新型車両の紹介  
カーボンニュートラルに関する取組み ほか

（阪神電気鉄道）新型急行用車両3000系の紹介、生成AIを活用した保守支援システム ほか

（アイテック阪急阪神）3種（設備・運行・接客）の鉄道統合管理ポータル  
駅ホームにおける危険行動AI検知 ほか

以上